



ジュゴン Vol.92

ちゃんぷるニュース

SDCC 2017. 5. 30

Save the Dugong Campaign Center

CONTENTS

- 2/3 情勢・強行は内閣の行きづまり
- 決議履行をーIUCN 現地調査に向けて
- 大浦湾のジュゴンは？ー政府交渉報告
- 4/5 各地の動き
- 6/7 活動報告
- わんさか通信★ジュゴンのわ
- コラム「もの言う骨」



共謀罪法案の衆議院審議が山場を迎えている。5/19または週明けにも、衆議院法務委員会での強行採決が行われる可能性がある。国会前には連日1000名を超える人が集まり、全国各地で反対行動が行われている。一億総監視社会をつくり、あらゆる民主主義運動を委縮させるこの悪法をゆるしてはいけない。

ジュゴン保護キャンペーンセンターが参加する「Stop!辺野古新基地建設！大阪アクション」は、毎月第2火曜日に、埋め立て請負企業の大成建設関西支店に抗議行動を行っている。これをSNSで拡散しているが、今後facebookでの告知に「いいね」を押しただけで、「威力業務妨害の共謀容疑」で事情聴取される可能性がある。また毎年取り組んでいる「ジュゴンでトレイン」（電車に乗り込みジュゴンの着ぐるみや写真を持って行うサイレントアピール）なども、告知の段階で共謀を問われる可能性がある。

共謀罪に反対する。K-9護岸工事の中止を

私たちの行動は憲法に基づく全く合法的なものであり、そう簡単に逮捕・起訴はできないかもしれない。しかし逮捕・起訴に至らなくても運動を委縮分断するには、「事情聴取」だけで十分だ。そして公安警察は、周到な監視の上に、重点をきめて「共謀」での逮捕・起訴を実行するだろう。

沖縄での山城ヒロジさんの逮捕と長期拘束は、共謀罪を先どりするものであった。山城さんは尋問のたびに、「協力者は誰だ？」「誰と相談した？」と執拗に追及されたという。沖縄を先頭とする、民衆の平和をもとめる行動を、安倍政権は何より恐れているからだ。

だからこそSDCCは共謀罪に強く反対し、全国各地で立ち上がっている仲間とともに行動する。そして、現在「捨石」の投入が開始されている「K-9」護岸の工事中止を強く求める。沖縄防衛局は、海草移植など埋め立て承認の「環境配慮事項」も守らず、深場の地盤調査すら完了していない。ただ「捨石投入」のみを演出し、市民をあきらめさせることを目的とした暴挙である。SDCCは引き続き2万筆目標に署名を集め写真展を行い、「ジュゴンの海を守る」全国・世界の仲間とともに、あきらめることなく行動を続ける。ご支援ご協力をお願いします。

(関西 松島洋介)

[WEB] <http://www.sdcc.jp/>

[EMAIL] info@sdcc.jp



じゅごんでトレイン！天神橋筋商店街を練り歩くジュゴン（5面）



2200人が集まった復帰45年 5.15 平和とくらしを守る県民大会（4面）

情勢

「捨て石強行は安倍内閣の行きづまり」

5月連休明けから名護市大浦湾で、K9 護岸の基礎づくりの捨て石が始まりました。一方、沖合では海底ボーリング調査を未だに続けています。実施設計では、K9 護岸工事はポセイドンが調査している沖合のA 護岸工事（5.2m×2.2m×2.4m、7400トンのケーソン（コンクリートの箱）6個を投入）の後に行われるものです。なぜ計画変更したのでしょうか。沖合のA 護岸工事の地盤が軟弱で、ケーソン投入のメドがつかないからです。A 護岸なしにK9 護岸の基礎捨て石工事は、潮流の影響を受けます。また、新基地建設の地盤が軟弱であることは、未だに地盤調査の結果が明らかにされていないことから覗えます。

一なぜ、急ぐのか

反対する人々をあきらめさせ、運動の弱体化を狙っているからです。そして、夏に開かれる米国連邦裁判所のジュゴン訴訟控訴審で「工事が始まっている」と再開却下を狙っているのです。IUCN（国際自然保護連合）も「やんばるの森」などの2018年世界自然遺産登録の調査のために夏には来日します。世界自然遺産の最大の課題は外来種対策です。今年2月、IUCN本部からの名護市議会へ

の返書には、「（昨年9月ハワイ会議での決議20号にもとづき）日本政府の要請があれば、すべての主要な関係機関と協力する」と、辺野古の埋め立て土砂等の外来種対策に注目しているのです。私たちが提案し採択された決議20号「島しょ生態系への外来種の侵入経路管理の強化」の効果が効いてきています。

一承認撤回こそ建設阻止の近道

埋め立て承認撤回は工事を止めることができます。沖縄ジュゴンなど環境保全措置の不履行や、実施設計の一方的な変更など撤回する要件は多々あります。承認撤回は新基地建設反対を闘う人々を励まし、ジュゴン控訴審の再開につなげることができます。ジュゴン訴訟の審理中は埋め立て工事を停止せざるを得ませんし、米国世論に大きな影響を与えることができます。IUCN現地調査（世界自然遺産）時に承認撤回を闘いぬけば、埋め立て土砂の外来種混入問題を焦点化することができます。「やんばるの森」の世界自然遺産登録を実現するためにも、承認撤回、オスプレイ配備を断念させましょう。

コラム

今こそ4度のIUCN決議の履行を



昨年9月、国際自然保護連合（IUCN）世界自然保護会議（ハワイ）で、決議20号「島しょ生態系への外来種の侵入経路管理の強化」が採択されました。

同月、名護市議会は「4度のIUCN勧告・決議の履行を求める決議」を採択し、11月にIUCN本部に意見書を送りました。今年2月、IUCN本部から「決議20号にもとづき、日本政府の要請があれば、主要な関係機関と協力させていただく」と返事がきました。また、3月にはSDCCなどIUCN6団体がIUCN本部や世界遺産委員会に、4度のIUCN勧告・決議をふまえて世界自然遺産推薦地の現地調査に関する要望書（1. 外来種生物の専門家の同行、2. 沖縄島視察に辺野古大浦湾の追加、3. 市民との意見交換の場の確保など）を提出しました。

これらをふまえて、4月21日の環境省交渉では「沖縄県、IUCNメンバーとの意見交換の場は検討する」との回答を引き出しました（別掲）。IUCN本部や日本政府を動かし始めています。世界自然遺産の重要な課題は外来種対策です。2018年世界自然遺産の登録で、辺野古埋め立て土砂の外来種混入の問題を避けて通ることはできません。2000年IUCN第2回世界自然保護会議（アンマン）は日米両政府にやんばるの森の世界自然遺産への登録を勧告しました。（2.72「沖縄島のジュゴン、ノグチゲラ、ヤンバルクイナの保全」）。やんばるの森と辺野古・大浦湾は一つの生態系なのです。IUCN現地調査に向けて、「沖縄のジュゴン、ノグチゲラ、ヤンバルクイナの保全」を求める大きな世論をつくりましょう。

（事務局 蛭川義章）

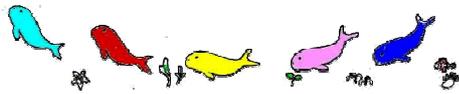


4月21日政府交渉 ～埋め立て承認撤回に向けて



安倍内閣が埋め立て土砂投入を準備している最中に政府交渉をしました。重点は1. 辺野古埋め立て承認の留意事項を守っていないことを明らかにする。2. やんばるの森を世界自然遺産に登録するためにもオスプレイ配備撤回と外来種対策強化が重要であることです。

防衛省では、沖縄防衛局の事後調査資料の「ジュゴン確認調査」(H27年4月～28年3月)で大浦湾で目視されていたジュゴンが発見できていない原因が、「海底ボーリング調査とフロートの設置が影響している」「この事実を米軍に伝えているのか」を追及しました。この追及に防衛省は回答不能となり、文書回答を約束せざるを得なくなりました。今年3月から始まった米国連邦高等裁判所で、防衛省の回答がジュゴン訴訟を再開するか否かの重要な証拠になるからです。また、環境保全の担保である沖縄防衛局の環境監視等委員会でジュゴン保護、海草藻場の保全、外来種対策などが一切議論されていないことを確認しました。このような状況下で埋め立て土砂を投入することは、埋め立て承認の留意事項違反であり、承認撤回の根拠になります。



環境省では、世界自然遺産の推薦書に米軍北部訓練場が明記していないのは「日米地位協定で保護管理措置が取れないから」、辺野古埋め立て土砂の外来種混入対策は「防衛省の仕事」などと居直りました。私たちは、今夏のIUCN現地調査で北部訓練場の存在が明らかになるから、事実として明記すべきと追及。IUCN本部が「外来種対策強化のIUCN決議をふまえて、日本政府から要請があれば協力する」とした名護市議会への返書に、「正式に要請されていない」「要請する必要はない」と国際世論に背をむける対応に終始しました。しかし、IUCN現地調査では、沖縄県、IUCNメンバーとの意見交換の場を設定することを検討すると回答せざるを得ませんでした。

(事務局 蛭川義章)



防衛省での交渉の様子

第17回SDCC総会報告

～辺野古大浦湾の埋立て工事強行を、国際的な闘いで阻止しよう！～

4月21日、東京大井町きゅりあんで第17回SDCC総会を開催しました。オープニングに、首都圏の北村さんご夫妻が歌と三線で楽しく盛り上げてくれました。

海勢頭豊代表の挨拶ではじまり、国際担当の吉川秀樹さんから、「やんばるの海も森も世界遺産に登録すべき価値のある地域だが民意を無視し工事が続けられている。国は、やんばるの森を世界遺産に推薦したが、北部訓練場を地図



に掲載しないなど基地問題の現実を避けている。このことをSDCCはIUCN、ユネスコなど国際社会に訴え、基地建設、飛行訓練の中止を求めていく。また、ジュゴン訴訟では、ジュゴン保護の手続きを訴えた。今後の裁判の行方が注目される」と報告されました。

蛭川事務局長から、会計報告と総活方針では、オール沖縄の埋立て承認撤回運動を積極的に担うことや、新署名の2万筆実現と埋立て土砂の外来種対策、世界自然遺産実現のキャンペーンの強化など、5つの方針を提案し承認されました。その後、首都圏、関西から会計と活動報告をし、今年のじゅごんの里ツアーの案内をしました。

最後に、人事提案が拍手で承認されました。

(首都圏 矢敷克子)



沖 縄

復帰45年5.15平和とくらしを守る県民大会報告

灼熱の太陽の下、そして土砂降りの豪雨の中、沖縄での平和行進を貫徹し、今日名護東海岸の大浦湾を見渡す瀬嵩の浜での「復帰45年5.15平和とくらしを守る県民大会」に全国の平和フォーラム、平和運動センターの働く青年、仲間が結集した。

私達、本部町島ぐるみ会議もマイクロバスをチャーターし、約30名の仲間と共に集会参加。未明までの雷、豪雨もあがり、天気も集会の成功を見守ってくれた。今日は日曜日で、対岸辺野古での工事の動きは見られない。

集会は、山城博治実行委員長も加わり「座り込めここへ」などの大合唱ではじまる。

稲嶺名護市長の激励の挨拶では「今日のこの集会、決して沖縄のたたかいは孤立していないことに自信をもって絶対にあきらめることなく新基地建設を阻止しよう！」あらためて決意が胸を打つ。

さらに、韓国カンジョン村をはじめとした平和行進代

海勢頭豊代表も参加



表派遣団 40名の参加と朴反動政権を打ち倒し民主化への歩みを進めると言う発言は、日米戦争勢力と立ち向かい、共謀罪、憲法改悪との闘いという課題に直面している我々沖縄、そして全国の平和を求める闘いに大きな励みとなるものでした。

辺野古ぶる一、抗議船団も連帯のパレード。

集会には辺野古文子オバーの姿も、そしてわれらがSDCC代表の海勢頭豊さんの姿も。

(沖縄 高垣喜三)

辺野古ぶる一、抗議船団のパレード



名護西海岸から1時間半かけて山を越え「ピース・ランニング」で駆けつけた稲嶺市長

東 京

「辺野古の海の埋め立て工事強行を許さない！4・19大集会」に参加して

「辺野古の海の埋め立て工事強行を許さない！4・19大集会」が、基地の県内移設に反対する県民会議・「止めよう！辺野古埋立て」国会包囲実行委員会・戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会の共催で日比谷野音で開催されました。参加者は3,500人。オープニングは三線演奏と島唄、そして、豊岡マッシーさんの「電波でうそをつかないで」で、一気に盛り上がりました。主催者挨拶の後、長期に不当拘留されていた沖縄平和運動センター議長の山城博治さんが登場すると、「お帰りなさい！」と、大きい拍手と指笛の大声援。山城さんは、いつもの迫力で「取り調べの中で毎日毎日何回も『共謀』『共犯』という言葉が使われた。共謀罪の先取りを許してはならないと頑張った。私への弾圧は、沖縄県民への弾圧、全国民への弾圧だ。安倍暴走を止めよう」と、呼びかけ、♪沖縄の未来(みち)は沖縄が決める〜と、歌いだすと会場全体で大合唱。力が湧いてくる山城博治さんの歌とスピーチでした。各政党や機動隊の沖縄派遣の住民訴訟の闘い等、市民団体の発言が続き、SDCCは、辺野古への土砂搬出反対協の方々と、ジュ

ゴン帽子をかぶって壇上でアピール。ジュゴン帽子は今回も大人気でした。集会後は、沖縄選出議員の糸数慶子さんと、パレードの先頭に立ち、「辺野古の海は埋め立てないで！」と、銀座で声を挙げました。

(首都圏 宮城詔子)



じゅごん帽でアピール！



山城博治さんが壇上「お帰りなさい！」

大阪

4月15日ジュゴンでトレイン&沖縄のネーネーの話を聞く集い

毎月15日はジュゴンの日。4月15日に“ジュゴンでトレイン”をやりました！始まりは環状線に乗り込んで広くジュゴン保護をアピールしようという取り組み。今回は5月の写真展の宣伝も兼ね、まずは京橋駅前で署名集めをし、環状線で天満駅へ（電車の中ではサイレントアピール）。天神橋筋商店街を練り歩きました。着ぐるみジュゴンを先頭に、メッセージボードを掲げ、三線を弾きながら写真展のチラシを配りました。ジュゴンは注目を集め、紅型衣装は華やかで良いアピールができました。署名は90筆も集まりました！「沖縄の海の写真展、行く行くー」と言って下さった方もいて、チラシを受け取って下さった方々、どれだけ来て下さるかな～。みなさまのご来場をお待ちしています。

ジュゴンでトレインを終え「辺野古に基地はつくらせない 勝つまであきらめない沖縄のネーネーの集い」に参加。沖縄から4人のネーネー（屋富祖昌子さん、佐藤明美さん、大城博子さん、翁長久美子さん）がやってきた！研究者、議員、子や孫を思うネーネーとしてゲート

前に集い、ごぼう抜きされても座り込みを続けるあきらめないその力強さにふれ、大阪のネーネーも頑張るよと思いを深めました。ジュゴンマスコットをプレゼントして「平和のお守りとして広げています」と伝えると皆さんとても喜んで下さいました。『屈しない…』戦争はいやだという思いはますます大きくなっていくでしょう。（関西 池側恵美子）



あなたの街で Dugong de Train!

大阪でのジュゴンでトレイン！に合わせて、「あなたの街でもアクション！」をと呼びかけたところ、東京、三重県、兵庫県、沖縄、そしてハワイからも写真とメッセージが届きました～！世界のみんなで、ジュゴンを守ろう～！

沖縄市泡瀬の「ウミエラ館」の館長さん 自作のジュゴンと一緒に

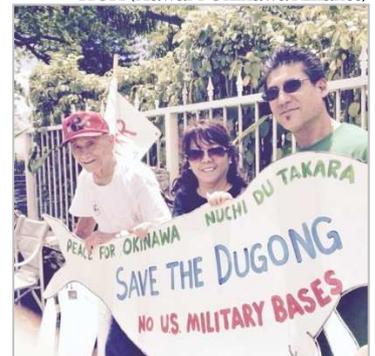


沖縄で活動するデュオ「そら」さんと



「東京MX ニュース女子」に抗議する新宿デモで。豊岡マッシーさん

ホノルルから 昨年のIUCN/ワイ会議で交流したHOAの皆さん HOA (Hawai'i Okinawa Alliance)



じゅごんお母の父、目崎茂和さん “ジュゴンのために 応援隊 三重からエール”



宮古島から 琉球犬と一緒に

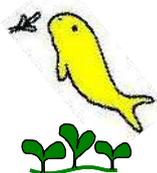


兵庫から 桜とジュゴン

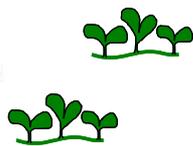
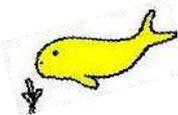


辺野古から 抗議船船長の牧志治さん

報告



第20回夢あ～るまつり ～牧志治講演会・写真展に参加して～



5月13日～14日、大田区池上会館展示ホールにて「第20回夢あ～るまつり～牧志治講演会・写真展」が開催されました。「沖縄県読谷村のような平和な地域を作ろう」と地域で開催してきたまつりです。

今回は20回記念として、沖縄から写真家の牧志治さんをお招きして、2日間のイベントとして取り組まれました。

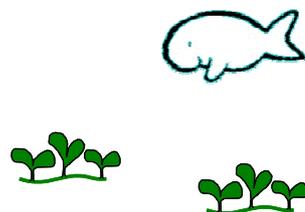
会場にはオスプレイの墜落写真が18枚展示され、墜落現場の凄まじさを物語っています。

「米軍の機関紙が、『オスプレイクラッシュ』と言っているのに、日本のマスコミは『不時着水』などと報道している。この写真を見れば誰が見ても墜落だ」

「墜落の翌朝ボートを出して現場に急行した。陸上は物々しい警備だったが、海上はまだ規制されていなかった。目立

たぬように海に入り、コンパスを使って水中を移動し現場に近づいた。約40分間100枚以上夢中でシャッターを切った」と牧志さんは当日の緊迫した状況を語りました。

また、辺野古・大浦湾の水中写真も20枚以上展示されていました。「5,400種の生物、262種の絶滅危惧種が生息する海を埋め立てて米軍基地を作ることなど許せませんか」と訴えていました。まつりは、ミニステージでの歌や踊り、模擬店が出店し楽しいゆんたくに花を咲かせていました。
(首都圏 三村昭彦)



① わんさか通信 ★ ジュゴンの①

フィリピンに伝わるジュゴンの民話

お父さんお母さんと、三人の子供の五人家族がいました。一番下の男の子はまだ乳飲み子でした。

しかし浮気をして別の家族をつくり妻と子供が邪魔になったお父さんは小舟に妻を乗せ海に出て妻の足を縄で縛って沈めてしまいました。次の日から三人の子供はお母さんを探してまわりました。

「母さんは海にいますか？どんな姿でも会いたい、弟にお乳をあげてください」。泣きながら歌いました。「会いたい帰ってきて、弟は腹ペコです」

すると風が吹き、波が打ち寄せジュゴンが現れました。子供が赤ちゃんを連れ近づくと、ジュゴンは横向きになりお乳を飲ませました。それから毎日お乳をくれて子供達は日暮れ



までジュゴンと過ごしました。そして赤ちゃんが乳離れの頃、現れなくなったそうです。

(BS3「幻の人魚伝説・ジュゴンと出会う」より)



この民話を話してくれたおばあちゃんの祖母は、ジュゴンを怖がる孫に「ジュゴンは優しいよ、元々は人間だったんだから。」と話し始めてくれたそうです。(沖縄・小平)

もの言う骨 ~こらむ・コラム~

5月20日。琉球新報一面トップは、「国内初の旧石器墓地」の大見出し。石垣島の、白保サネタ原洞穴遺跡から出土した人骨19体は、世界最大級で、港川人より5千年古いという。約1万6千年前後の新石器時代は、ヤマトゥでは縄文時代で、ウチナーでは、貝塚時代。それ以前が、旧石器である。

研究者の談話によると、出土した旧石器人は、頭骨を含めほぼ全身の骨格があり、葬られた時の姿勢も明らかになった。「遺体を地下に埋めず、地上の狭い岩陰に安置する風葬に近い様式だ」とのこと。また、「死者を吊る場所と生活する場所が、洞窟の外と中で分かれていた可能性が高い」とした。当真沖縄考古学会会長は、「旧石器人が、意識的に生と死を分けて葬っていたことに驚いた。沖縄から、世界的な発見を発信できることは、大きな喜びだ」と、コメントしている。

そして、その記事の下に、「伊是名の玉御殿、国重要文化財へ」の見出しで、近く正式に指定を受ける旨のニュースが載っている。一見、なんの関係もない二つの記

事だが、ウチナーの精神文化の歴史の深さを考える上で、極めて重要なことなので、紹介しておく。そして、一面横には「共謀罪」採決強行の文字が、黒塗白抜きで載っている。

その新報とは逆に、沖縄タイムスの一面トップが「共謀罪」採決を強行の文字が、黒塗白抜きの大見出しを掲げている。19日の衆院法務委員会で、自民、公明、日本維新の会の賛成多数で、闘いの場は、参院、衆院へと移ることとなった。そして、その横には、退位法案を閣議決定とある。そして、その下が、「石垣 旧石器時代の墓域」のニュース。

目に余る愚かさを露呈して恥じないヤマトゥのゾンビ政治家。そのゾンビに利用されて哀れな皇位継承問題。それに対して、宗教と歴史の真実を伝えるウチナーの祖先たちの骨。おそらく、ジュゴンとともに生きてであろう旧石器人たちが、今のウチナーとヤマトゥの対立を、笑っているに違いない。

海勢頭豊（うみせど ゆたか：SDCC 共同代表）

アースデイ東京に参加しました

4月22日、23日、東京の代々木公園で開催されたアースデイに参加しました。今回は辺野古や高江に寄り添う活動をしている団体を集め、環境問題の根っこにある平和を多くの人と考える「One Peace Okinawa」という実行委員企画に関わり、ブース出展とSDCC代表の海勢頭豊さんのライブも行いました。

ライブテントはアットホームで、沖縄の音楽が響き、「One Peace Okinawa」のエリアは活気と笑顔にあふれていました。その雰囲気誘われてか、ブースにはたくさんの方が訪れ、1日に何度もブースを訪れる人や2日間とも来てくれた福島県の小学生グループもいました。大学生が授業の一環や自己学習のため訪れている姿も見かけ、熱心な学生は話を聞いて、メモを取っていました。

ライブは歌だけでなくトークもあり、それぞれの人が辺野古や高江のことを自分の言葉で語っていました。重いテーマですが、歌もあり、みんなで踊る場面もあり、明るい気持ちで出店できました。

今回は辺野古や高江に寄り添う団体が集まることで、団体同士の連携や関係づくりにもつながりました。例えば、SDCCのブースでジュゴンと海の話をした時に、沖縄の海で潜ったことがないという人には、隣のブースが辺野古・大浦湾の海をまるで潜っているように体験できる映像を持っ

てきていたので、そちらを勧めました。

互いのブースが近いので、他の団体とも活動で課題に思っていることや自分たちのやり方などを気軽に話し合うことができ、ジュゴンを守りたいという想いをより強くできたイベント参加でした。（関西 正阿彌（しょうあみ） 崇子）



I N F O R M A T I O N

<p><首都圏></p> <p style="text-align: center;">《 今後のスケジュール 》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6/10 (土) 止めよう! 辺野古埋立て 共謀罪法案は廃案に! 6. 10 国会大包围 14時~15時半 場所: 国会周辺 ・6/18 (日) あなたの知らない沖縄 13時半~ @明治学院大学白金キャンパス本館 3F1301 教室 800円 <p>*2017ZENKOin東京 7/29 サンパール荒川 7/30 シアター1010、北とびあ 一般料金 2日券2000円、一日券1200円</p>	<p><関西></p> <ul style="list-style-type: none"> ・6/15 (木) おきなわ茶会 @モモの家 (吹田) 19時~ 500円 ・6/22 (木) じゅごん茶話会 14時~ 京橋事務所 ・7/16 (日) 海勢頭豊ライブ @本澄寺 (高槻市上牧) 14時~ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-top: 10px;"> 関西からも参加します! </div>
--	--

牧志治さん写真展とお話し会

辺野古・大浦湾をフィールドに活躍されている写真家牧志治さんの写真展開催中です。同じ会場で6/4にお話し会をします。

- *写真展 5/22(月)~6/18(日) マガタマ cafe x & dining
JR・地下鉄玉造駅すぐ 11時~21時
- *牧志さんお話し会 6/4 (日) 16時半~18時
参加費 予約1500円/当日1800円(1プレート1ドリンク付き)

じゅごんの里ツアー 6/30(金)~7/2(日)

辺野古・大浦湾の海を体験しよう!

(SDCC会員向けのスタディツアー)

参加費31000円 (+本年度の会費2000円)
宿泊2泊・船・レンタカー・ガイド料・食事代
(飛行機代は含まれません。各自で手配してください)
締め切りは6/11(日)です。お早めにお問い合わせください。

♪ 楽しくジュゴンを広げています ♪

三線弾きました~



4/2 モモまつり (吹田のモモの家主催)

5/14 のセピースマーケット



屋外ステージで、アピール♥



5/4 地球愛祭り in 京都

おいしい食べ物、地元や海外の雑貨など、色んなブースが並び、ステージではダンスや音楽のパフォーマンスが・・・。そんな楽しいお祭りに、ちょこちょこブースを出しに行きます。ゆっくりおしゃべりできるので、辺野古のことをよく知らない人にも、伝えられるのがいよいよと思っています。結構「座り込みに行ってきたよ」という人とも出会って、つながりが広がっていきます。

海勢頭豊 New CD

琉球賛歌

好評発売中♪

全10曲 2500円+送料



1. 琉球賛歌 2. 椎の川
3. トゥーヌーマーヌー 4. 浜屋顔
5. 平安座ウフバンタ 6. 島九年母
7. 喜瀬武京 8. 古里慕情
9. 響まし宮古島 10. 辺野古旅情

署名にご協力を!



『沖縄のジュゴン、ノグチゲラ、ヤンバルクイナを守ろう』
2月からはじめた新署名、現在3500筆ほど集まっています。11月の署名提出に向けて、目標は2万筆! 引き続きご協力よろしくお願いします。

※じゅごんの里ツアー、牧志さんお話し会、CD「琉球賛歌」についてのお問い合わせは、下記事務所まで。

ジュゴンちゃんぐるニュース VOL.92 2017年5月30日発行
ジュゴン保護キャンペーンセンター Save the Dugong Campaign Center (SDCC)
〒162-0815 東京都新宿区筑土八幡町2-2-1
第1千代田ビル301 なかま共同事務所内 TEL/FAX 03-5228-1377
○ <http://www.sdcc.jp/> ○ info@sdcc.jp
(関西連絡先) 〒534-0025 大阪府都島区片町2丁目9番21号野ロビル302
TEL/FAX 06-6353-0514

会費(2000円)&カンパ振り込み先

郵便振替:
加入者名 ジュゴン保護キャンペーンセンター
口座番号 00140-9-660199
他行、コンビニからは: ゆうちょ銀行 ○○八支店
口座番号 普通 8159084

ちゃんぐるニュース購読会員募集中です。年会費2000円で年6回ニュースをお届けします
お問い合わせは、上記事務所まで。ニュース購読で、あなたもジュゴンサポーターに!